

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：横浜文化保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：丸岡 隆	定員（利用人数）： 150名（利用人数：140名）	
所在地：〒245-0018 横浜市泉区上飯田町4613番地		
TEL：045-303-5551	ホームページ： <a href="https://www.city.yokohama.lg.jp/izumi/kurashi/kosodate_kyoiku/hoiku/hoikujo/ninka/yokohamabunka.html">https://www.city.yokohama.lg.jp/izumi/kurashi/kosodate_kyoiku/hoiku/hoikujo/ninka/yokohamabunka.html</a>	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：昭和54年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 愛育会		
職員数	常勤職員：21名 非常勤職員：25名	
専門職員	（専門職の名称） 名	
	園長：1名	調理補助：3名
	副園長：1名	看護師：1名
	保育士：33名	保育補助：2名
	管理栄養士：1名	事務員：1名
	調理員：2名	環境整備：1名
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室：10	園庭：有り（敷地2,262㎡）
	ホール：1	1階・2階テラス
	トイレ：8ヶ所	
	調理室：1	
	職員室：1	
	休憩室：2	
相談室：1		

③理念・基本方針

【保育方針】

「のびのびとすくすくと育ちゆく その子らしさの芽を見守る保育」を保育方針とし、入園された園児に対し、適正な保育と教育を提供することを目的としています。保育士は「一人ひとりの子どもとの関わりを大切に作る保育」の姿勢に立ち、子どもと心を通わせ、育ちを温かく見守りながら安全と健やかな成長への援助を心がけています。

隣接する森や畑や果樹園の自然の恩物は、子ども達に豊かな感性と科学する眼を与えてくれています。

遊びを通して「自分で考え行動できる子」「相手を思いやれる子」の育成を目標としたカリキュラム編成をしています。子ども達が「明日もまた保育園で遊びたいな」と感じてもらえるような保育園を目指しています。

【保育目標】

「あ」いする心を育てる

「り」ずむある生活を身につける

「が」っこうへの準備をする

「と」もだちと仲良くする

「う」んどう大好きな子に育てる

そして、「ありがとう」と感謝する気持ちを育て、自分や自分の周りの人を大切にできる子に育てて欲しいと願っています。

④施設・事業所の特徴的な取組

【豊かな園環境】

保育園は、果樹園や畑、森等、自然を感じられる立地にあり、広々した園庭で思いきり遊べる環境にあります。園児1人辺り4倍多い基準の園庭を有しています。保育園生活の中ですぐに外で遊ぶことができることは大きな魅力です。近隣の畑では、5オクラスがジャガイモの植えから収穫までの体験をさせていただいており、調理体験も行っています。

【活動が広がる園舎】

保育室では、安定して生活できるよう、広さや安全が確保されています。0才、1才、4才（夕方の乳児合同保育クラス）は床暖房となっており、乳児の活動が活発となるよう、配慮しています。トイレも明るく、トイレトレーニングが進みやすいよう工夫しています。園舎の園庭側にはテラスを設けており、夏のプール遊びやおやつを食べたり、遊ぶスペースとなっています。2階には舞台付きのホールがあり、雨天時の活動の場や発表会の会場ともなっています。

【専門の先生によるサポート】

幼児クラスでは、毎月、英語と体操の講師による保育提案があり、新しい挑戦を楽しむと共に就学準備もすすめています。0才、1オクラスでは、毎月アレルギー専門医による健康診断を取り入れており、他学年においての健康相談にも応じています。また、4才、5オクラスでは、女子サッカーチームとの交流があり、ボール遊びの提案があります。さらに、姉妹園の善隣館幼稚園の温水プール施設を利用したプール指導があり、25mプールならではのダイナミックな運動を楽しんでいます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年6月1日（契約日）～ 令和6年3月8日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1 回（2014年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1)安心・安全な保育を展開しています。

保育理念である「のびのびとすくすくと育ちゆく」を実現すべく、「事故防止・事故対応マニュアル」に、安心/安全な保育を目指すことが明記されています。保育園を創設した時からの園長の保育に対する思いは、「よりよい保育をめざして」という冊子に込められていて、職員もそれに共感し、保育の支柱となっています。空気清浄機や暖房設備など、子どもの育ちを考えた設備を整えています。栄養士や看護師はそれぞれの専門性をしっかり発揮して、衛生管理や感染症対策を行っています。

2)のびのびと活動できる広い庭園など、恵まれた環境を保育に生かしています  
のびのび活動できる広い園庭 周囲には畑や果樹園があり、のどかな風景の広がる環境です。広々とした解放感のある園庭には、ぶらんこやよじ登ったり滑ったりできる大型遊具、ごっこ遊びもできるような汽車などが、園庭を取り囲んで設置されています。子どもたちは、日々、戸外での自由遊びを楽しんでいます。就学後も「文化保育園の子は足が早い」と言われるほどで、思い切り走り回れる素晴らしい環境です。

3)体験を重視した多彩な保育に取り組んでいます

事業計画はこれまで職員等の参画がない状況で策定されて来ています。今後は、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで園の中・長期計画を策定されることが期待されます。子どもたちの成長に向けた保育計画をはじめ、質の向上、人材計画、環境整備等について、実行可能な具体的計画で、目標の数値化等、定量的な分析が可能な内容であることが期待されます。

5)目標管理制度（PDCA）の導入が期待されます

これまで職員は、担当したいクラスを自己申告し、自ら保育目標を設定して取り組み、年度末に自己評価・振り返りを実施して来ました。今後は目標管理（PDCA）システムを導入し、組織的に職員の保育知識・技能の向上に取り組むしくみが期待されます。職員の保育目標の設定・取組等のアドバイスの面談を、目標設定時・中間・期末に実施し、併せて期末には職員の自己評価を園としてまとめ、次年度以降の保育に生かすことが期待されます。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回、第三者評価を受審し職員全員で自己評価に取り組んだ事は、共有できている事や強み、弱みなどを把握するために、とても良い機会となりました。また自己評価を行った事で、職員の仕事への取り組みに前向きな姿勢が芽生えました。

評価していただいた項目については今後さらに推進していくとともに、改善を必要とされる項目については保育の質の向上に努め、職員一丸となってより良い施設を目指して努力していきたいと考えています。

また、アンケートにご協力いただきました保護者の皆様に感謝申し上げます。

#### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり